

【募集結果】四倉地区の市街地再生に向けたアイデア募集の実施について

No	皆様からいただいたアイデア
1	<p>四倉市街地の再生については、まず<u>四倉の地の利を活かしたものがよろしいか</u>と思います。具体的には<u>海沿いをサイクリングできるように道路、歩道を整備する</u>。また、<u>若い人を集客出来る施設を作る</u>、例えば<u>蟹洗温泉に海が臨めるサウナやインスタ映えする休憩所を設け、館内にグランピング施設を併設するなど、若い世代にウケがよい温泉施設にリニューアルする</u>のもよいと思います。<u>空き店舗は格安の賃料で若い経営者へ貸し出すのはいかがでしょう</u>。東京都下北沢では破格の賃料で若い世代に空き店舗を貸し出しテナントとして出店出来る地区が話題になっています。そこでは<u>若い世代の経営する居酒屋やカフェや雑貨屋が出店し、さらに若い世代を呼び込める仕組み</u>になっています。<u>四倉の店舗同士を気軽に回れるようにレンタサイクルのサービスを実施し、四倉全体をつなぐ工夫も必要あるか</u>と思います。</p>
2	<p>(人口増加のため)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売買物件情報の増加。 ・ <u>市や町で空き家を一時的な借家として運用。即入居できる状態にして定住予定者に期間限定の借家として運用</u>。期間内に定住先が見つからなければ市営住宅や一般の賃貸物件に移ってもらう。 ・ まちなか定住促進事業と同等の審査で居住者を入居させ、あたりまえだが引越費用や住まいにかかわる家賃、光熱費費用は入居者負担で、四倉町で生活するにはどのくらい月々の出費がかかるかを学ばせて今後の生活に活かさせる。 ・ <u>いわき市及び四倉町として都会からの移住の推進ではなく、四倉出身で地元復帰を検討している家族に通年で募集している定住支援があると嬉しい</u>です。※”フランチィいわきへ”まちなか定住促進事業の期間延長化及び募集枠の増加。 ・ 一軒家からの引越して住宅ローンを審査のため実績を積むのに集合住宅に住むとなると、家財の保管先に迷う。実家の敷地に余裕があれば物置でも立てて保管しておけばよいとは思いますが、そうもいかない家族のため保管先の施設を希望。 <p>(元気になるための街づくり)</p> <p>昨今は遊ぶ場所が減少している。「子供の声がうるさい、公園で遊ばせるな」等、世知辛いニュースばかり目に入ってきてしまう。なので、<u>この街に来ればどれだけ叫んでも、走り回っても文句が言われない遊び場を推進する街があると面白いのかな</u>と感じた。</p> <p>(元気になる町として、大まかに括ると遊ぶ趣味に全振りした体験型アクティビティ施設の建設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>スポーツ、キャンプ、釣りなど子供たちが何回でも来たくなる施設</u> ・ <u>子供だけではなく大人が勉強、体力維持、新たな趣味を探せる施設</u> ・ <u>ラジコン、ミニ四駆、プラモデル作成</u> (塗装ブースなど一般家庭では難しい施設) ・ <u>ドライビングシミュレータ GT7 やサイクルシミュレータ ZWIFT、e スポーツが体験できる施設</u> ・ <u>PC ゲーム、マインクラフト教室</u> ・ <u>昔懐かしいおもちゃ、ビー玉、ベーゴマ、メンコ遊び、凧あげ等、おじいちゃん、おばあちゃんが指導者となる教室</u> <p>(一例として、四倉高校跡地を総合スポーツ施設として再利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校庭 <u>自転車総合施設を整備</u> レンタル自転車配置 自転車交通ルール指導：昔子供の村あったような交通公園を整備 平日は自由に走行可 週末実際に指導員を配置して乗車指導 定期的に老若男女問わず交通安全教室を開催 町中を走行し各拠点(商店、コンビニ)にクイズやスタンプラリーの様な形式でポイントを集め、地元商品券、地元企業が作っている商品などと交換し協力店に還元できるシステムづくり。 ロードバイク等のポタリング、いわき市ライドの拠点作成、レストランカフェ併設の拠点。 MTB・BMX コース作成：新地町にある「しんちパンプトラック」の様なトラックを整備。 スケボー、ローラースケート、BMX 等エクストリームスポーツのバンク ・ 体育館 <u>部活 OB などアマチュアチームが集まるようなバスケ、バレーボール等の大会の定期開催</u>。 中学生部活動の地域移行で指導者のもとアマチュアチームの共同練習。

	<p>運動能力の高い上級生と練習することで大会成績アップを目指す。 <u>トレーニングセンターの設置</u>。ロッカー、シャワー設備設置 ウェイトトレーニング、ランニングマシン、エアロバイク等を自由に使用できる施設。 中学生の筋力、走力、持久力アップなど部活の一部としても利用してもらう。 週末には講師を呼んで有料で講習してもらう。</p> <p>・卓球場</p> <p>・教室 <u>市役所支所を移転</u>。できるだけ多くの行政機関を移転させ建物維持費の節約。管理棟も兼ねる。 宿泊施設、食事は懐かしい給食をメインに提供、テニスコートを改修し自炊コーナーにしたり、テントを張ってデイキャンプができるゾーンにする。あくまで学校という施設なのでお酒の提供は一切しない。 DIY 教室、木工教室、端材や工具を用意して親子で自由に創作してもらう。 病院直通バスや買い物バスを運用して利用者の拠点としても人が集まるのではないでしょう。</p> <p>・図書室 ※校門からの坂道はちょっとした運動には良いとは思いますが、足腰弱い方には辛いかも。 今は視聴覚室があるのでしょうか。体育館で行ったローカル大会の動画を確認しながら今後の練習の会議が開けるような<u>スポーツカフェ兼会議スペース</u>に利用。お酒の提供は無しで、飲み物はスポーツドリンク、エナジードリンク等スポーツを意識した飲み物を提供。 図書室はそのままスポーツ関連の書籍をメインに取り揃えた書店やグッズ販売所として運用。</p> <p><u>四倉港には釣りができるよう生簀を設置し釣り堀として運用</u>。まだまだほかにもあると思うが、とにかく趣味、遊びに特化した集合施設、四倉港を再利用し安全対策をしたうえで運用。格安で老若男女、家族全員でとにかく<u>体を動かし、頭を動かし、楽しく健康に遊んで学べる施設</u>が欲しいです。</p> <p>また、<u>商店街はよく言えば食べ歩き、我々世代では買い食いが子供のお小遣いでもできる店舗</u>があると良いですね。大きなスーパーを誘致するのではなく、理想は都会の商店街の様な<u>小さな揚物・総菜店、精肉店、八百屋等が集まってちょっと歩けば夕飯が揃ってしまう場所</u>になると利便性が上がりますよね。</p> <p>さらにコンセプト「一品（逸品）料理のうまい店が揃っている街」として、例えば私はシンプルな食べ物が好きなので、「卵かけご飯だけです」とか「うちの店はギョーザ専門店です」「コッペパンだけで勝負しています」みたいに<u>小さくてもこだわりを持ち単品勝負している専門店</u>がいっぱい並んだ街並みをみてみたいですね。毎月テーマを決め、お店ごとにおすすめの料理や商品をピックアップして提供販売するイベントなんか良いと思う。</p> <p>週末には「週末文化祭」ということで屋台村みたいなスペースを設け、いわき市内の中学生、高校生が主体となったまさに文化祭で提供している軽食類、文化部の展示物、吹奏楽部のコンサートを開催。美術作品などは実際に購入でき、最近は高校で商品を開発販売していると思うのでその発表の場として提供。 自分たちが主体となり何度も人前で作品や音楽発表また商品提供することで、緊張せず自信をもってコミュニケーションが取れ就学や就活に活かせる学生が育てられるかも。</p>
3	<p>JR 四ツ倉駅西側の元工場跡地に学校や文化施設を新規移転する計画について 基本的には賛成です。しかし、現在、駅の東側から西側に、自動車で横断する道路がありません。まずは<u>線路をまたぐ自動車道路の建設</u>をお願いいたします。 地図だけをみますと、<u>四ツ倉駅西側の北に延びる道路は、ご承知の通り、梅が丘団地内の山道です。狭くて不便です。</u></p>
4	<p>私が育った 50 年前、四倉町は漁業で栄え、同級生には船主や料亭の子供。それとセメント工場や八釜鉱山もあったので都会的な子供もいて、児童の数は小学校で5クラス、中学校では8クラスでした。その後北洋漁業が厳しくなり、鉱山や工場がなくなり東日本大震災があったとはいえ、なんとこの凋落ぶりでしょうか。 そこで若い人たちが子育てしやすい環境、老人と各世代が交流共存できるまちづくりの一環として、<u>小児科とファミリーレストランもしくは複合施設の誘致を提案</u>します。 現在私の知る限り四倉地区には、お年寄りが散歩途中で気軽に立ち寄って休憩できるスペースがないので、<u>ガストやサイゼリヤ、ココス等があれば、年金暮らしでもドリンクバー利用で手軽に立ち寄り、休日には子供や孫世代とも交流できるのではないのでしょうか。</u> また高齢者も車で移動がメインになっていますが、<u>きれいな散歩道などもあわせて整備すれば、健康のため歩いてみよう、あそこに行けば楽しい何かがあるから行ってみようとおもわないのでしょうか？</u>矛盾しているようですが、<u>散歩道の近くにも駐車できるスペースがあるとなおいい</u>と思います。四倉町は海から里から山まで広いので。 もし可能であれば、<u>宮城県閑上の「かわまちてらす閑上」のような施設</u>もいいですね。 現在道の駅よつくら港に頑張ってくださいありがとうございます、もう1か所ぐらいそんな拠点ができれ</p>

	<p>ばいいと思っています。また、<u>若いお母さん方もファミレス等で情報交換もでき、子育てのストレスも発散できる</u>と思います。また、<u>小児科ができれば、四倉町で安心して子育てしてみたい</u>と思う方もふえるのではないのでしょうか。</p> <p>また、<u>廃校になった大野小も、四倉インターから近いという地の利を生かして、首都圏で練習場を探している劇団やプロダクション、スポーツチームに練習場や合宿所などとしての利用を提案</u>してみたいはいかがでしょうか？</p> <p>私は転勤族の多い会社にいたので、若い人にいわきのいいところを聞くと、「いわき、いいすよね！飯がうまいっす！」とかえってきました。東北でも雪がほとんど降らない穴場、海の幸の魚介類、山の幸のイチゴ、トマト、地場野菜これは大きな武器になると思います。いわき大使の方たちにも働きかけてみたらどうでしょうか？</p> <p>そんな若い人たちのなかから、いわきを好きになってくれる人、いわきに定着してくれる人があらわれたらいいなと、ひそかに期待しています。</p>
5	<p>茨城県五霞町の道の駅ごかにあるスポーツパーク GOKA のように、<u>調整池を活用したスポーツ施設を計画</u>してほしい。</p>
6	<p>現在の検討事項に関して、これまでのワーキンググループ等の資料も全て拝見しました。<u>四倉支所、四倉分署は集約検討に含まれていない</u>と思いますが、以下の理由から検討に含めて欲しいと考えます。</p> <p>①四倉支所の駐車場台数が少ない、施設経過年数も今後検討が延びる場合は40年を超えることが想定される。</p> <p>②四倉分署の所在地について、現在の場所でなければいけない明確な理由がないのであれば施設集約の観点から防災拠点施設に含めてもよいのではと考える。</p> <p>③東日本大震災を想定した場合、四倉支所、四倉分署ともに対応はできなかったものと推察する。この場合、防災拠点に集約すればこの問題は解消され则认为る。</p> <p>・国土交通省でいくつか事例紹介しているケースがあり、私は新潟県長岡市の施設を実際に見ています。例えば事例紹介だけではなく、特に四倉地区の検討にマッチしている事例などがあれば、関係者で視察してみたいはいかがでしょうか。</p>
7	<p>基本方針に関連するアイディア（意見）について、恐縮ですが以下の通りです。方針1に関しては、市当局がこれまで長期間、地元関係団体等と協議を重ね、既に地元団体から昨年秋に要請文も提出されているので、拠点の整備に関する意見はありません。</p> <p>今後は、この拠点の整備と並行して、地域づくりの視点から企画開発・産業振興・防災・文化等の様々な部局による組織横断型の検討組織を立上げ、地元団体や住民、外部協力者等の更なる参画を得て、実現できる取組みから実行に移していくという方針で協議を進めていただきたいと思ます。</p> <p>【方針1】教育・文化・福祉機能を有する交流・防災拠点の整備 四ツ倉駅西地区への上記交流・防災拠点の整備を進めるとともに、以下の災害対策の実効性を確保する観点からの検討を引き続き進めていただきたい。</p> <p>①常磐線東側市街地から西側避難先への複数のアクセス道路の整備・確保 現在の県道こ線橋や市道踏切について、大規模地震災害時の避難交通に対応できるよう改修・整備するとともに、それでもなお不十分であると想定されることから、アンダーパスの拡張（車両通行）や新設による避難経路の確保を図るべきです。</p> <p>②大津波時の徒歩避難経路の整備 避難場所は指定されていますが、整備された防潮堤を越える10m以上の大津波も想定されます。このため大津波警報が発出された場合、徒歩では時間のかかる四倉工業団地や自然の家周辺を避難先として想定せざるを得ません。</p> <p>しかしながら、現況の避難道路のみでは、これまでの経験から大混雑となることが見込まれます。このため、当面の対策として、新町・志津・太夫坂・八日十日から工業団地へつながる低山地域に公園や遊歩道を整備することで、大津波時の徒歩による避難経路を確保するとともに、四倉港と市街地、新舞子海岸から塩屋岬まで見渡せる景観の価値を活かし、地域の歴史や文化にふれ、健康づくりに役立てられよう活用していくことが肝要と思ます。</p> <p>【方針2】民間活力の導入によるにぎわい拠点の形成 【方針3】商店街のにぎわい再生</p> <p>方針2と方針3は、これまでも勉強会や地元参加者との意見交換を行っているようですが、<u>産業振興の視点から関連が非常に深く、また、ブルーツーリズムや歴史文化の回廊づくり、個性と魅力ある町づくりの視点からも密接に関連している</u>と思ます。</p> <p>このため、<u>テーマを絞りながら、関心のある外部の起業家等を加えたワークショップを実施</u>するなど、協議を継続していただきたいと思ます。</p> <p>なお、具体的なアイディアとしては次の通りです。 案1：海まちチャレンジショップ事業</p>

	<p>案2：よつくら新町・仲町・元町各共用パーキング実証事業 案3：コミュニティ食堂モデル事業 案4：いわき市北部病診連携かかりつけ医継承・確保事業</p> <p>【方針4】安全な道路空間の整備 道路整備予算の確保につきますが、整備の方針およびこれに基づく整備計画を定期的に地域住民へ示しつつ、着実な改修・整備をお願いしたいと思います。</p> <p>なお、市街地の道路は、古くからの名称として、「陸前浜街道」、「中須賀通り」など歴史的な名称があります。また、境川を暗渠化した通りなどは、昭和20年代後半まで実施されていた「火打ち合い（火祭り）」の舞台ですので、このような歴史を地域の通りのネーミングに活かすことも意義があると思います。</p>
8	<p>道の駅の各柱への寄せ書き、大変元気をもらい見させて頂いています。他には無く、当時の被災状況が感じ取れます。欲を言えば、四倉海岸が一望できないのがちょっと寂しいです。</p> <p>四倉町内あちこちに犬のフンが散乱しております。どうにかならないものでしょうか？駅西側団地には禁止張り紙がされていますが！</p>
9	<p>聞くとところによると駅の西側、住友セメント跡地に各学校他、建設予定とありますが、まずは町内道路歩道の充実化が先かなと常々思っています。（小学生の安全が第一かな？）</p> <p>あの広い跡地に是非、いわき市武道館を誘致して頂きたいと思います。（日々楽しく元気な町になるかなと）</p>
10	<p>こんにちは。 四倉町にあったらいいなと思うお店を考えてみました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ハンドメイドの作品を委託販売してくれるお店やレンタルBOXのお店</u> ・ <u>カフェや食堂</u> ・ <u>テイクアウトのお店（お弁当屋さん）</u> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>諏訪社様が開催されているようなマルシェイベント・手作りマルシェ</u> ・ <u>（ワンダーファームで行われるイベントに行ってみたことがあるのですが、駐車場がなく入れないことが多かったです。道の駅の広場など、駐車場が広い場所でのイベントがあったらいいなと思います。）</u> ・ <u>地域の方や高齢者の方と触れ合うことが出来るイベントや食堂（四倉町の昔の様子を聞いてみたいです。）</u> ・ <u>商店街の空き店舗で地域の人が作った野菜やお花などを売る。</u> ・ <u>お店を開きたい人に空き家を格安で貸す。</u> <p>生まれも育ちも四倉ですが、商店街も寂しくなりましたね。 母とも“昔はこんなお店があったね”など、よく話をしております。 また、昔のようなにぎわいが戻ってくれたらと願います。 テレビ番組の“人生の楽園”に出てくるお店の人との触れ合いが理想です。</p>
11	<p>四倉ジュニア寺子屋の設置 <u>四倉小学生の居場所確保と学習機会の拡大、高校生ボランティア意識育成と人間性醸成のため、小学生に対し高校生が様々なジャンルの勉強等を教える場所を確保する。四倉の小学生と高校生が学びを通じた交流を育み、将来は四倉の課題にも関心を持ち、町づくりに貢献できるベースづくりにも寄与できる。</u></p> <p>また、大人は支える側に専念し、特定の管理者は行政、民間事業者、商工会、行政区の輪番制とし、官民一体となって四倉の若い世代交流を促進するシステムにする。</p> <p>企画から地元高校生に参加いただくことが、プログラムに柔軟な発想を取り組むためにも必要である。</p>
12	<p>「芸術のまち四倉」構想 <u>地域を活性化する原動力は、行政でも民間事業者でも商工会でもなく地元住民である。地元住民が自ら行動し個人の心を満たすことが重要であるが、その手法は大きく分けて2つある。その1つは経済活性化による収入安定だが、市街地再生により雇用創出、観光促進、商業発展などを見込むのは極めて困難である。しかしながら、もう1つの手法である芸術文化を活かしたまちづくりは、四倉の地域性に合った有効な手法である。</u></p> <p>芸術活動が盛んな地域は、豊かな人間性や高い教養を持つ人々が多いことが特徴だが、四倉町は史上最年少で吉野せい賞を受賞された実川れお氏を輩出し、大野出身者が代表者を務める「劇団ごきげんよう」が活動している。</p>

	<p>四倉住民が先頭に立って行動し、市街地再生による行政、教育機関、民間事業者等連携により、文化芸術関係や人材の地域資源活用に意を用いながら、「芸術のまち四倉」を確立させていく。</p> <p>別府アルゲリッチ音楽祭、たざわ湖芸術村、南丹市の田んぼアート・ものづくり、青森県田舎館村の田んぼアートなど、国内でも芸術文化を活用し成功している例は数多い。</p> <p>四倉も住民の心を満たす活動を推進できる地域である。</p>
13	<p>四倉ねぶたの名称と燈籠の内容変更</p> <p>祭りの最大の意義は、地元住民による地域への愛着や交流拡大だけでなく、開催を目標とした楽しむ心の育成や日常生活の活性化を図れることである。</p> <p>四倉では「四倉ねぶた」を開催しているが、青森や弘前ねぶたの真似という印象は拭えず、地域の独自性を発揮しているとは言えない。そこで名称を変更してはどうか。商工会が主催し四倉町在住者を対象とした新名称募集を行うことで、地域住民による祭りに対する意識向上にも寄与できる。</p> <p>また、担ぐ燈籠の内容も四倉に伝わる伝説や神話、海をイメージできる内容に変更していく発想転換も重要だ。</p> <p>青森ねぶたの現在の巨大化した燈籠になったのは戦後である。数年の時間を要しても四倉らしさを打ち出した祭りにする事で、住民の地域に対する愛情と誇りの拡大につながるのではないか。</p>